

<人間科学部 一般選抜>

【世界史】

●問題冊子9ページ：Ⅳ 設問Y ⑤

選択肢の記述に不適切な部分があったため、適切な解答に至らないおそれがあると判断しました。当該箇所の設定につきましては、解答の有無・内容にかかわらず、受験生全員に得点を与えることといたします。

以上

# 世 界 史

(問 題)

2022年度

〈R04163419〉

## 注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
  - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
  - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
  - (3) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	<input checked="" type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い
マークを消す時	<input type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 次の文章を読み、設問X・Yの答えをマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

A は、1978年の著書『オリエンタリズム』において、近代ヨーロッパ人が、中近東地域をはじめとする「東洋」に非合理性・停滞性・暴力性などの否定的な属性を投影し、その「東洋」という他者を鏡像とすることで、合理的で文明的・進歩的な「西洋」という自己イメージを作り上げてきたことを批判的に考察した。このような議論は、いわゆるポスト=コロニアル研究の先鞭をつけるものであった。

ヨーロッパにおける否定的・差別的な他者表象には長い系譜がある。古代ギリシア人は、自らを「ヘレネス」と呼び、ギリシア語を話さない異民族を「バルバロイ」と呼んだが、<sup>①</sup>「バルバロイ」はその後、ヨーロッパ諸言語における「野蛮人」の語源となる。コロンブスがアメリカ大陸に到達した15世紀末以降のヨーロッパでは、<sup>②</sup>アメリカ大陸先住民が、食人などの慣習をもつ「野蛮な」存在として表象され、それによって征服が正当化された。また、<sup>③</sup>18世紀以降に発展した生物分類学には、後の差別的な「人種」概念につながる発想も含まれていた。

さらに、ヨーロッパ諸国による植民地支配が拡大した19世紀は、「文明の進歩」の頂点としてのヨーロッパという自己イメージが広く信じられた時代でもあった。このことを象徴するのが、<sup>④</sup>B 年にロンドンで最初に開催されて以降、ヨーロッパ各地で開かれた万国博覧会である。万国博覧会では、植民地の人々を連れて来てその生活様式とともに展示することもしばしば行われ、「異質で劣った他者」というイメージが大衆の消費の対象とされた。また、ダーウインの『種の起源』の出版もこれと同時代の出来事であり、同書は、ヨーロッパを「進歩」の頂点とみなす通念を背景に、<sup>⑤</sup>スペンサーらの社会進化論にも影響を与えた。

このような差別的で自己肯定的な他者表象の反面において、近代ヨーロッパには、非西洋の文化に依拠しつつ、自文化の限界を乗り越えようとする批判的思考の系譜が存在してきた。たとえば、<sup>⑥</sup>人文主義者モンテーニュは『エッセー（随想録）』を著し、アメリカ大陸先住民を鏡にして、同時代のヨーロッパ文化を相対化した。また、<sup>⑦</sup>啓蒙思想家ルソーは、非西洋の文化についての報告を参照しながら、文明社会における不平等を批判した。

一方、芸術の分野でも、20世紀初頭のパリでは、<sup>⑧</sup>アフリカなどの非西洋の造形物から着想を得て、ピカソがキュビズムを創始し、ヨーロッパの芸術様式に革新をもたらした。また、ジャズが「黒人音楽」としてヨーロッパに紹介され、熱狂的に受容されたのも同じ時期である。さらに第二次世界大戦後、文化人類学者の C は、これまで「未開」と呼ばれてきた人々にも独自の合理的思考があることを主著『野生の思考』で示し、人間文化の多様性と相対性を主張した。現実においても、こうした文化・思想の流れに呼応するかのよう<sup>⑨</sup>に、植民地における独立への機運が高まっていた。

他者をどのように表象し、その他者と自己の関係をどのように想像するかという問題は、グローバル化の時代と呼ばれる現代においても避けて通れないものであり続けている。

設問X 文中の空欄 A ～ C に入る最も適切な語を、a～dの中から一つ選びなさい。

- |   |   |       |   |       |   |         |   |           |
|---|---|-------|---|-------|---|---------|---|-----------|
| A | a | タゴール  | b | ブローデル | c | シュペングラー | d | サイド       |
| B | a | 1848  | b | 1851  | c | 1855    | d | 1867      |
| C | a | ヴェーバー | b | サルトル  | c | デュエイ    | d | レヴィ=ストロース |

設問Y 文中の下線部①～⑧に関する次の問いについて、最も適切な解答をa～dの中から一つ選びなさい。

- ① 古代ギリシア人が築いた文化について述べた以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
  - a トウキディデス（トゥキユディデス）がペロポネソス戦争を主題とする『歴史』（『戦史』）を著した。
  - b デモクリトスが、「万物は流転する」と表現される、変化の原理に基づく自然哲学を唱えた。
  - c 三大悲劇詩人（三大悲劇作家）と呼ばれるアイスキュロス・ソフォクレス・エウリピデスの作品が市民に鑑賞された。
  - d フェイディアスがパルテノン神殿のアテナ女神像を制作した。

- ② ヨーロッパ人による征服以前にアメリカ大陸先住民が築いた文明について述べた以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- メキシコ湾岸地方では、絵文字をもち、ジャガーを崇拝するオルメカ文明が形成された。
  - ユカタン半島に成立したトルテカ文明は、衰退の後、テオティワカン文明によって継承され発展させられた。
  - アステカ文明は、絵文字を持ち、テノチティトランを中心に栄えた。
  - マヤ文明は、ピラミッド状の建築物、精密な暦、マヤ文字などを発達させた。
- ③ 17～19世紀における科学の発展について述べた以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- ボイルが気体の圧力と体積の関係を法則化し、気体力学の基礎をつくった。
  - ラブラースが太陽系の成立を説明する宇宙進化論を唱えた。
  - パストゥールが種痘法によって天然痘の予防を可能にした。
  - ハーヴェーが心臓を中心とする血液循環説を唱えた。
- ④ スпенサーに関連して、18～19世紀ヨーロッパにおける社会科学・社会思想について述べた以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- コントが実証主義哲学の立場に基づき社会学を創始した。
  - リストが、後発国における自由貿易に反対して保護貿易政策を主張し、ドイツ関税同盟の実現に努めた。
  - リカードが、マルクスの労働価値説を批判し古典派経済学（自由主義経済学）を樹立した。
  - サヴィニーが、自然法学に対して、各国民に固有の法の歴史的形成過程を重視する歴史法学を提唱した。
- ⑤ モンテーニュが生きた16世紀フランスの出来事A～Dについて、時間的に正しい順序で並んでいるものはどれか。
- A アンリ4世がナントの勅令（王令）を發布する。  
 B ヴァロワ朝が断絶し、ブルボン朝が始まる。  
 C パリでサン＝バルテルミの虐殺が起きる。  
 D 新旧両派によるユグノー戦争が始まる。
- a C→B→A→D      b D→C→B→A      c C→D→A→B      d D→B→A→C
- ⑥ ルソーに関連して、16～18世紀のヨーロッパで活躍した思想家について述べた以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- グロティウスは自然法を国家間に応用することによって、国際法の発展に寄与した。
  - ホブズンの『リヴァイアサン』は、人間を自然状態にすれば「万人の万人に対する闘い」におちいると指摘し、国家統治の絶対性を主張した。
  - モンテスキューは『法の精神』を著し、イギリスのような三権分立を説いた。
  - ロックは『統治二論』を著し、不当な統治においては、人民は国家（君主）に反抗する権利があることを論じ、ピューリタン革命に影響を与えた。
- ⑦ ヨーロッパの絵画作品について述べた以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- ゴヤの《1808年5月3日》（《マドリッド、1808年5月3日》）は、ナポレオン軍に抵抗したスペイン市民が処刑される様子を描いている。
  - ダヴィドの《ナポレオンの戴冠式》は、1804年、皇帝に即位したナポレオンが、ローマ教皇の前で皇后に自ら冠を授ける様子を描いている。
  - ドラクロワの《民衆を導く自由の女神》は、代表的なロマン主義絵画の一つであり、1830年のフランス七月革命を題材としている。
  - ピカソの《ゲルニカ》は、第一次世界大戦の際にドイツ軍の爆撃で破壊されたスペインの小都市ゲルニカを題材に、戦争への怒りをこめて描かれた。
- ⑧ 植民地の独立に関連する以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- 1950年代以降に独立が相次いだアフリカでは、独立した国々によって1963年にアフリカ統一機構（OAU）が結成された。
  - アルジェリア独立運動をめぐって、宗主国のフランス国内の世論が分裂し、第四共和政が倒れた。その結果、政権復帰したド＝ゴールがアルジェリア独立を1962年に認めた。
  - イギリス領のインドでは、第二次世界大戦後、統一インドを主張するガンディーらと、分離独立を求めるジンナーが対立していたが、1947年にインド連邦とパキスタンの2国に分かれて独立した。
  - ホー＝チ＝ミン率いるベトナム社会主義共和国がフランスに独立を宣言し、インドシナ戦争が始まったが、ディエンビエンフーでフランスが大敗し、1954年にジュネーヴ休戦協定が成立した。

II 次の文章を読み、設問X・Yの答えをマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

キリスト教は、紀元1世紀にパレスチナで生まれたイエスをメシア（救世主）とする宗教である。イエスの教えはペテロやパウロらの使徒によって、ローマ帝国領内の諸都市に伝えられたが、古代の宗教のなかでも異色な性格を持っていたので、4世紀初めまでは迫害や弾圧の対象となっていた。しかし、キリスト教は帝国全体にさらに拡大し続け、

**A** 年、コンスタンティヌス帝はミラノ勅令を発して、キリスト教信仰の自由を認めることで、帝国の統一を図った。こうして、キリスト教はローマ帝国の公認宗教となっていたが、キリスト教会内部においては神学上の論争がおこっていたため、コンスタンティヌス帝は325年、**B** で公会議を開いて、教義の統一を目指した。公会議は、通常は教皇が招集し司教などの教会代表が集まって、教義や信仰生活のあり方を協議する会議であり、これ以降たびたび招集され、キリスト教の歴史に大きな影響を与えることになった。例えば、東ローマ（ビザンツ）帝国皇帝テオドシウス2世の要請で開催された431年のエフェソス公会議では、正統・異端をめぐる教義の統一が徹底しておこなわれた。

中世期においては、公会議は、さらにキリスト教の活動に大きな役割を果たした。1095年、ビザンツ皇帝の要請により、教皇ウルバヌス2世が招集したクレルモン宗教会議（公会議）では、セルジューク朝に占領された聖地イェルサレム回復の聖戦をおこすことが提唱され、いわゆる十字軍遠征が開始された。他方、ローマ＝カトリック教会とコンスタンティノープル＝ギリシア正教会の分離の動きが激化して、公会議の位置づけも大きく変化していった。1215年、

**C** が開催した第4回ラテラノ（ラテラン）公会議は、カトリック教会による中世最大の公会議であり、教会改革、十字軍、異端裁判などについて、包括的な決定がおこなわれた。1414年、神聖ローマ皇帝 **D** により開催されたコンスタンツ公会議では、教会問題と宗教紛争解決のための協議がなされた。1517年、ドイツ中部のザクセンのヴィッテンベルクで、ルターによる宗教改革運動が勃発し、プロテスタント（新教）の動きが活発になった。1545年から

**E** で開かれた公会議は、このキリスト教新旧両派の調停を目的に開催された。ところが、新教徒側がほとんど出席しなかったため、ローマ教皇の至上権やカトリックの教義を再確認する場となった。この会議を機に、宗教改革の拡大に呼応して、カトリック側の対抗宗教改革が本格的に始まり、その一環としてイエズス会が海外伝道や教育活動を盛んに展開した。

設問X 文中の空欄 **A** ～ **E** に入る最も適切な語を、a～dの中から一つ選びなさい。

- |   |               |              |           |            |
|---|---------------|--------------|-----------|------------|
| A | a 311         | b 313        | c 315     | d 317      |
| B | a アレクサンドリア    | b ペルガモン      | c コリントス   | d ニケーア     |
| C | a インノケンティウス3世 | b グレゴリウス7世   |           |            |
|   | c カリクトゥス2世    | d ボニファティウス8世 |           |            |
| D | a フリードリヒ2世    | b ジギスムント     | c ハインリヒ4世 | d フリードリヒ1世 |
| E | a バーゼル        | b アウクスブルク    | c ジュネーヴ   | d トリエント    |

設問Y 文中の下線部①～⑦に関する次の問いについて、最も適切な解答をa～dの中から一つ選びなさい。

- ① 古代の宗教に関連して述べた次の文の中で、誤りを含むものはどれか。
- マニは、ゾロアスター教・仏教・キリスト教を融合して、3世紀にマニ教をおこした。
  - ゾロアスター教は、火を崇拝するので拝火教とも呼ばれ、ササン朝では国教とされた。
  - 共和政期ローマでは、ローマ神話起源の獅子神ミトラ（ミトラス）を崇拝するミトラ（ミトラス）教が民衆の間で広がった。
  - ユダヤ教は、ヤハウェを唯一神とし、ユダヤ民族の選民思想やメシア信仰を説いた。
- ② この公会議で異端とされたのは誰の説か。当てはまるものを選びなさい。
- |   |        |   |       |   |      |   |        |
|---|--------|---|-------|---|------|---|--------|
| a | ネストリウス | b | ユリアヌス | c | アリウス | d | アタナシウス |
|---|--------|---|-------|---|------|---|--------|

- ③ ビザンツ帝国や皇帝に関連して述べた次の文の中で、誤りを含むものはどれか。
- a ビザンツ帝国はユスティニアヌス帝の時代に最盛期を迎え、西ゴート王国とヴァンダル王国を滅ぼした。
  - b ビザンツ帝国では、帝国をいくつかの軍管区（テーマ）に分け、軍管区に基づく屯田兵制を行い、防衛の強化と収入の安定を図った。
  - c ビザンツ皇帝レオン3世は、偶像崇拜を禁ずる聖像禁止令を発布した。
  - d 1453年、メフメト2世によりコンスタンティノープルが陥落し、ビザンツ帝国は滅亡した。
- ④ セルジューク朝について述べた次の文の中で、誤りを含むものはどれか。
- a 建国者トゥグリル＝ベク（トゥグリル＝ベグ）はアッバース朝カリフの要請で、バグダードに入城し、スルタンの称号を授かった。
  - b セルジューク朝は、スンナ派を奉じ、シーア派のファーティマ朝と対抗した。
  - c セルジューク朝は、バグダードに「知恵の館」を発足させ、アラビア語への翻訳・研究機関とした。
  - d セルジューク朝の一族は、アナトリアでルーム＝セルジューク朝を建てた。
- ⑤ 第4回ラテラノ（ラテラン）公会議に関連して、1929年には同地でラテラノ（ラテラン）条約が結ばれたが、この条約について述べた次の文の中で、正しいものはどれか。
- a この条約によって、イタリアはアルバニアを保護国化した。
  - b この条約によって、ローマ教皇庁がムッソリーニ政府を承認した。
  - c この条約によって、イタリアは国境紛争を口実に侵入したエチオピアを併合した。
  - d この条約によって、アメリカ・イギリス・フランス・イタリアなど15か国の調印で国際的に戦争が違法化された。
- ⑥ コンスタンツ公会議について述べた次の文の中で、正しいものはどれか。
- a この会議はイタリアのコンスタンツで開催され、14世紀前半からつづく教会大分裂について協議がなされた。
  - b この会議で、オクスフォード大学教授ウイクリフの説が異端とされ、ウイクリフは火刑に処せられた。
  - c この会議で、ウィーン大学教授フスの説が異端とされ、フスは火刑に処せられた。
  - d この会議ののち、ベーメン（ボヘミア）を中心に反教皇・反皇帝戦争がおき、チェコ民族運動と結びついた。
- ⑦ イエズス会に関連して、次のイエズス会の宣教師の中で、16世紀末にいち早く中国にはいり、活動を行ったものは誰か。
- a アダム＝シャルル      b ブーヴェ      c マテオ＝リッチ      d カステイリオーネ

III 次の文章を読み、設問 X・Y の答えをマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

新疆ウイグル自治区は中華人民共和国西北部にある。当自治区は中央を西から東にかけて（ア）山脈が連なり、その南北にタリム盆地、ジュンガル盆地が広がり、面積は中華人民共和国の省・自治区のなかで最大であり、またインド・パキスタン・アフガニスタン・タジキスタン・キルギス・カザフスタン・ロシア・モンゴルの8カ国と国境を接している。2020年現在の人口は約2585万人であるが、その民族構成は、ウイグル族45%、<sup>①</sup>漢族42%、カザフ族、回族などのその他の民族13%となっており、ウイグル族人口が最多で漢族人口が半数に満たない地域である。

タリム盆地の大部分はタクラマカン砂漠が占め、その周縁部にはオアシスが点在し、<sup>②</sup>古くからインド＝ヨーロッパ語族のことばを話す人々が居住していた。前1千年紀になるとオアシスでは農耕が発達し、またオアシスとオアシスを結ぶ交易も行なわれるようになり、紀元前後には数十に及ぶオアシス国家が分立した。中国では古くからこの地域を西域とよぶが、前2世紀後半、前漢の武帝は（イ）に派遣した張騫から西域に関する情報を得、この地域を支配下においた。後3世紀に後漢が滅亡した後、西域に対する中国王朝の支配は後退し、甘粛に基盤を置く勢力が進出したり、遊牧勢力が影響をおよぼした時期もあった。<sup>④</sup>

7世紀初に唐が中国を支配すると、太宗は西域にも勢力を広げ、都護府を置いて監督した。しかしこの唐の動きは西方から進出してきたアッバース朝との衝突につながり、751年、（ウ）の戦いで唐は敗北した。これ以後、西域のイスラーム化が進むことになった。

9世紀にはモンゴル高原にあったウイグルの国家が崩壊し、ウイグル族をはじめとするトルコ系の諸民族がタリム盆地やパミール高原の西側に移動してきた。これによってこれらの地域のトルコ化が進行し、トルキスタンができるが、パミール高原を境にその西を西トルキスタン、東を東トルキスタンと称する。

東トルキスタンに居住するようになったトルコ系の人々はモンゴル帝国時代以降、徐々にイスラーム教を受け入れ、<sup>⑥</sup>イスラーム化した。このようにして現在のトルキスタンの民族・宗教構成ができあがるのである。

18世紀中ごろ、清の康熙帝がジュンガルを攻撃したのに続き、（エ）がジュンガルとタリム盆地を征服し、この地域は新しい領域を意味する「新疆」と呼ばれるようになった。その後、19世紀中ごろにヤークーブ＝ベク（ヤークーブ＝ベグ）の反乱によって清の支配は崩れたが、（オ）はこれを平定し、清はこの地を新疆省とした。

中華民国はそれを引き継いだが、ウイグル族たちの間では東トルキスタン共和国として独立する動きも続いた。しかし中華人民共和国は建国後これを統合し、1955年に新疆ウイグル自治区を設置したのである。

設問 X 文中の空欄（ア）～（オ）に入る最も適切な語を、a～dの中から一つ選びなさい。

- |               |           |        |         |
|---------------|-----------|--------|---------|
| (ア) a 秦嶺      | b 崑崙      | c 祁連   | d 天山    |
| (イ) a 大宛      | b 大月氏     | c 大夏   | d 大理    |
| (ウ) a パーニーパット | b ニハーヴァンド | c サラトガ | d タラス河畔 |
| (エ) a 雍正帝     | b 嘉慶帝     | c 乾隆帝  | d 順治帝   |
| (オ) a 左宗棠     | b 梁啓超     | c 黄宗羲  | d 張作霖   |

設問 Y 文中の下線部①～⑦に関する下記の問いについて、最も適切な解答を a～dの中から一つ選びなさい。

① モンゴルに関する次の（1）～（4）の事項が古いものから年代順に並んでいるものはどれか。

- (1) 辛亥革命を契機に清朝から独立した。
- (2) モンゴル国が成立し、社会主義体制から離脱した。
- (3) モンゴル人民党（モンゴル人民革命党）を中心にモンゴル人民共和国を樹立した。
- (4) 満洲国との国境付近で、日本軍とソ連軍が武力衝突するノモンハン事件が起こった。

- a (1) → (2) → (3) → (4)
- b (1) → (3) → (4) → (2)
- c (4) → (1) → (3) → (2)
- d (3) → (1) → (2) → (4)

- ② オアシスに関する次の文のなかで正しいものはどれか。
- a オアシスでは農地直下にカナート（カレーズ、フォガラ）と呼ばれる豎井戸を掘削して地下から水を得ることによって、生活圏を拡大することができた。
  - b タク라마カン砂漠周縁部のオアシス都市国家として、クチャ、ホータン、サマルカンドなどが古くから繁栄した。
  - c 大航海時代以前には、オアシスとオアシスを結ぶ「オアシスの道」が中央ユーラシアの東西交通の主要ルートであった。
  - d 「オアシスの道」を19世紀のドイツの地理学者ヘディンが「シルクロード」と名づけた。
- ③ この地域（西域）に対する漢の支配に関する次の文のなかで正しいものはどれか。
- a 前漢の武帝は西域を支配して交易の利を得ていた鮮卑を攻撃し、西域に対する支配を確立した。
  - b 前1世紀中ごろには前漢は西域都護を設置して交易路の確保などに当たらせた。
  - c 後漢時代の西域都護であった班固はタリム盆地の支配を確立した。
  - d 後2世紀後半には大秦王安敦の使者が西域を経由して洛陽に到着した。
- ④ 後漢が滅亡してから唐が成立するまでの時期の西域に関する次の文のなかで最も古い時期の出来事はどれか。
- a クチャ出身の仏僧仏図澄が洛陽に至り、後趙で重用された。
  - b モンゴル高原に拠点を置いた突厥がタリム盆地にまで勢力を拡大した。
  - c バクトリアを中心にしたエフタルがタリム盆地に勢力を広げた。
  - d 北魏の太武帝は華北を統一する過程でタリム盆地へも勢力を伸ばし、西域のオアシス諸国家との関係が強化された。
- ⑤ 都護府に関する次の文のなかで誤りを含むものはどれか。
- a 都護府は服属した異民族の統治のために設置した軍事行政機関である。
  - b 唐はベトナム北部を支配するために、ハノイに安南都護府を設置した。
  - c 唐は高句麗を滅ぼした後、平壤に単于都護府を設置した。
  - d 都護府は唐代初期には6つ置かれたが、8世紀前半から節度使に代わられるようになった。
- ⑥ 西トルキスタンではこれより早くトルコ系の人々がイスラーム化していったが、それに関連する次の文のなかで誤りを含むものはどれか。
- a 9世紀初ころからアッバース朝ではマムルークを親衛隊に組織するようになった。
  - b 10世紀末ころに西トルキスタンに建国されたイラン系のゴール朝のもとで、トルコ系の人々のイスラーム教への改宗がすすんだ。
  - c トルコ系の人々が10世紀中ごろに建国したカラハン朝は、建国後イスラーム教を受容した。
  - d サーマーン朝のマムルークが10世紀後半にアフガニスタンにガズナ朝を建てた。
- ⑦ 新疆に対する清朝の支配に関する次の文のなかで誤りを含むものはどれか。
- a 新疆をモンゴル・青海・チベットとともに藩部と称し、限定的な自治を認めた。
  - b 新疆等の藩部を統括する中央官庁として理藩院が設置された。
  - c 新疆の漢族に対しては最大の権威と権力を持つダライ＝ラマを通して支配を行なった。
  - d 新疆ではウイグル人のベク（ベグ）を地方官として任用した。



## IV

次の文章を読み、設問X・Yの答えをマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

① 1936年8月、ドイツの首都ベルリンで第11回オリンピック・ベルリン大会が開催された。元々、1916年に第6回オリンピック大会が同地で開催の予定であったが、第一次世界大戦のために中止となり、1936年の大会がドイツで開かれた最初のオリンピックとなった。

ドイツのヒトラー政権は（ A ）年のいわゆる全権委任法によって、ナチ党の一党独裁を実現していたが、その人種差別主義によるユダヤ人排斥政策がオリンピックの理念に背くとして、アメリカ合衆国などでベルリン大会ボイコットの動きが見られた。これを受けてドイツ側が露骨な反ユダヤキャンペーンなどを控えたため、結局1936年のベルリン大会は、それまでで最大の大会となった。

その4年後1940年には、東京で第12回オリンピック・東京大会が開催される予定であったが、日本は日中戦争の激化などを受けて東京大会開催を返上した。東京の代替都市ヘルシンキでのオリンピックも、その次の1944年に予定されていた第13回オリンピック・ロンドン大会も、第二次世界大戦のために中止された。

第二次世界大戦終結後、最初に開催された1948年の第14回オリンピック・ロンドン大会には、敗戦国の日本やドイツは参加していない。日本とドイツ（当時のドイツ連邦共和国／西ドイツ）の両国は1952年、第15回オリンピック・ヘルシンキ大会からオリンピックに復帰した。その後1964年、第18回オリンピック・東京大会がアジアで最初のオリンピックとして、日本で開催された。

日本と同じく第二次世界大戦の敗戦国であったドイツ（ドイツ連邦共和国／西ドイツ）で、二度目のオリンピックが開かれたのは1972年のことである。この第20回オリンピック・ミュンヘン大会開催中、（ B ）による占領からのパレスチナ解放を掲げる武装組織「黒い九月」に（ B ）選手団のメンバー11人が監禁、殺害される事件が起こったが、大会競技は続行された。

ソヴィエト連邦（ソ連）は1952年、第15回オリンピック・ヘルシンキ大会で初めてオリンピックに参加し、1980年には第22回オリンピック大会が首都モスクワで開催されることになった。しかし、1979年にソ連軍が（ C ）に侵攻したことへの抗議と制裁として、オリンピック・モスクワ大会をボイコットするよう、カーター大統領下のアメリカ合衆国が呼びかけ、日本を含む少なからぬ西側同盟諸国がそれに従った。その4年後、1984年の第23回オリンピック・ロサンゼルス大会では、ソ連が大会参加ボイコットを呼びかけ、中国とユーゴスラヴィア、ルーマニアを除く東側同盟諸国が不参加となった。

2020年、東京での二度目の開催が予定されていた第32回オリンピック・東京大会は、蔓延する新型コロナウイルス感染症のために1年延期となり、2021年、史上初めて無観客で実施された。

4年に一度、神に捧げる大祭として行われ、その際には戦いも休戦になったという（ D ）を起源とするオリンピックの祭典を、現代の世界に甦らせ、スポーツを通じて世界平和に貢献するという近代オリンピック理念の実現は、たやすいことではないようである。

設問X 文中の空欄（ A ）～（ D ）に入る最も適切な語を、a～dの中から一つ選びなさい。

- |   |   |          |   |         |   |         |   |          |
|---|---|----------|---|---------|---|---------|---|----------|
| A | a | 1932     | b | 1933    | c | 1934    | d | 1935     |
| B | a | エジプト     | b | イスラエル   | c | イラン     | d | イギリス     |
| C | a | チェチェン    | b | ウズベキスタン | c | アフガニスタン | d | トルクメニスタン |
| D | a | 古代メソポタミア | b | 古代エジプト  | c | 古代ローマ   | d | 古代ギリシア   |

設問Y 文中の下線部①～⑦に関する次の問いについて、最も適切な解答をa～dの中から一つ選びなさい。

- ① 以下の文のうち、1936年に起こったできごとの説明ではないものを選びなさい。
- ドイツは仏ソ相互援助条約調印を理由として、ロカルノ条約を破棄した。
  - ドイツは徴兵制の復活と再軍備を宣言した。
  - ドイツは国際共産主義の動きに対抗するため、日本と防共協定を結んだ。
  - ドイツとイタリアの間にベルリン＝ローマ枢軸が成立した。

- ② 1～4に示す、第一次世界大戦中に起こったできごとが正しく年代順に並んでいるものを、a～dから選びなさい。
- 1 ドイツは無制限潜水艦作戦を宣言し、指定航路外の船舶を無警告で攻撃した。
  - 2 ドイツ軍はタンネンベルクの戦いでロシア軍を破った。
  - 3 ロシア領内の中央アジア諸民族が労役動員に抗議して蜂起した。
  - 4 ドイツ軍の潜水艦がイギリス客船ルシタニア号を撃沈した。
- a 1→2→4→3      b 2→4→3→1      c 3→2→1→4      d 4→3→1→2
- ③ 日中戦争のきっかけは1937年の盧溝橋事件だと言われている。以下の文のうち、それ以前に起こったできごとの説明ではないものを選びなさい。
- a 日本の関東軍は柳条湖での鉄道爆破事件を口実に、中国東北地方を占領した。
  - b 国際連盟が派遣したリットン調査団の調査をきっかけに、日本は国際連盟を脱退した。
  - c 瑞金に拠っていた紅軍（共産党軍）は、国民政府軍の攻撃を受け、陝西・甘粛省をめざして長征を実行した。
  - d 日本の後押しで、南京に汪兆銘を首班とする政権が設立された。
- ④ 以下の文のうち、第二次世界大戦終結から1948年までに起こったできごとの説明ではないものを選びなさい。
- a アメリカ合衆国・イギリス・フランス・ソ連・中国を中心メンバーとする国際連合が発足した。
  - b ニュルンベルクに国際軍事裁判所が設置され、ナチス＝ドイツの指導者の戦争犯罪が裁かれた。
  - c アメリカ合衆国を中心とした西側12カ国が北大西洋条約機構を結成した。
  - d イタリアでは国民投票の結果、王政が廃止されて共和政となった。
- ⑤ 以下の文のうち、1972年までに起こった、ドイツ連邦共和国（西ドイツ）に関わるできごとの説明として誤りを含むものを選びなさい。
- a 1949年5月、ボンを暫定的な首都としてドイツ連邦共和国が成立した。
  - b 1952年、フランス・西ドイツ・イタリア・ベネルクス3国はヨーロッパ石炭鉄鋼共同体を結成した。
  - c キリスト教民主同盟のアデナウアー首相の下、経済復興を果たした西ドイツは、1955年、米・英・仏・ソと国家条約を結んで主権を回復した。
  - d 1969年、西ドイツ首相となった社会民主党のブラントは、ソ連や東欧の社会主義国との関係改善をはかる東方外交を始めた。
- ⑥ 以下の文のうち、ソ連に関わるできごとの説明として誤りを含むものを選びなさい。
- a 1955年、ソ連は他の東欧諸国との共同防衛を定めた東ヨーロッパ相互援助条約を締結した。
  - b 1956年、ソ連共産党大会でフルシチョフ第一書記はスターリン批判を行うとともに、資本主義国側との平和共存路線をうちだした。
  - c 1968年、チェコスロヴァキアで「プラハの春」と呼ばれる民主化運動が起こると、ソ連は軍事介入して改革の動きを抑えた。
  - d 1989年、ソ連書記長ゴルバチョフはアメリカ大統領ブッシュと首脳会談を行い、中距離核戦力（INF）の全廃に合意した。
- ⑦ 以下の文のうち、カーター大統領の在任期間中に起こったできごとの説明ではないものを選びなさい。
- a アメリカ合衆国とパナマとの間でパナマ運河に関する新たな条約が締結され、パナマへの運河の返還が約束された。
  - b アメリカの仲介の結果、エジプトとイスラエルの間でエジプト＝イスラエル平和条約が締結された。
  - c スtockホルムで国連人間環境会議が開催され、国連環境計画（UNEP）の設置が決定された。
  - d イランで宗教指導者ホメイニを中心とする革命が起こり、イラン＝イスラーム共和国が成立した。

〔以下余白〕